

リンちゃんを殺害した犯人に対する死刑を求めます。

上野周辺にお住まい、お勤めの皆様、全ての日本国民の皆様。私はリンちゃんの父です。ここ上野の上野公園は、リンちゃんと家族みんなで何度も訪れた場所です。家族の楽しい、幸せな思い出と記念がたくさん溢れている場所です。

初めて上野公園を訪れた時、リンちゃんは美しい景色、かわいい動物たちにとっても感動していました。その後、私たち家族はこの上野を何度も訪れました。

今日、この上野公園を訪れ、そして皆さんがお子様と一緒に楽しい時間を過ごされている様子を見て、私の心はとても痛んでいます。

リンちゃんとこの公園で楽しく遊びたい。リンちゃんと手をつないで、かわいい動物たちを眺めたい。この小さな夢は、今の私にとって、空に向かって飛んでいくことよりも、難しいのです。全ては、私の娘を殺した者によって奪われました。

2017年3月24日、人間性のない残虐な者が、リンちゃんを誘拐しました。私の娘は残忍な方法で殺害され、遺体を我孫子に遺棄しました。私たち家族は大変つらく、悲しい気持ちでした。私はリンちゃんが生まれた故郷まで運び、埋葬しました。

2017年5月26日、千葉地方検察庁は、澁谷恭正容疑者を、リンちゃんに対する誘拐、強制わいせつ致死、殺人、遺体遺棄等の罪で、千葉地方裁判所に起訴しました。

日現時点では、この事件の公判がいつ開かれるかは決まっています。

私は、日本の法律を尊重しています。自分の娘を殺した犯人の顔をこの目で見ることも、私は何もすることはできません。

皆さんも、私の娘のような事件が今後二度と起らないようにと願っていると思います。

でも、みんなが、言葉で願い、祈るだけで、具体的な行動をしないのであれば、願いは現実のものになるでしょうか。

リンちゃんを殺害した残虐な犯人が懲役刑になるとすれば、刑務所を出所する日が来ます。残虐な犯人の近くに住む人々の子供たちが、リンちゃんと同じような目に合うかもしれません。子供たちを守ってくれませんか。

私たちは、残虐な犯人を罰する権力を持っていません。他人の命を奪う権利を持っていません。けれど、私たちは、自らの感情、気持ちを表現する権利を持っています。そして、残虐な犯人が二度と同じことをしないように食い止める方法を考えなければなりません。

私は無力な人間です。私一人では何もできません。日本で裁判を行うので、日本人皆さんご協力ください。

日本の法律で許される範囲で、私の娘を殺した犯人に対する死刑を要求するための文章を書きました。

私と同じように考える方はたくさんおられると思っています。

自分の意見を述べる権利があります。最高刑の適用を要求するための用紙に署名をしてください。

他の子どもたちが、リンちゃんと同じようなめに逢わないためにも。

あと1か月しかありません。皆さんの思いを表してください。ありがとうございます。



●以下のリンクで印刷して、署名して、郵便で郵送してください。 <http://partime.biz/wp/wp-content/uploads/2017/06/tuhinh.pdf>

●郵便で郵送先 名前：レェ アイン ハオ 住所：〒270-2204 千葉県松戸市六実 5-15-6 ;

メール： lethinhatlinhjp@gmail.com; twitter: <https://twitter.com/leanhhaojp>; facebook: <https://www.facebook.com/leanhhaojp>; homepage: <http://partime.biz>; YouTube: 「リンちゃんと家族」を検索ください。ご協力お願いします。